

心理社会的形質に焦点を当てたゲノムコホート研究 (GCOP Study) 研究実施計画書

1. 研究の対象

いわて東北メディカル・メガバンク地域コホート調査の久慈地域（久慈市、洋野町、普代村、野田村）および気仙地域（大船渡市、住田町）の住民で GCOP 研究の質問票調査の郵送調査に回答した参加者（2021年3月～2022年9月に郵送済み）。

2. 研究期間

IMM 運営委員会承認日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日

3. 研究目的・方法

心理社会的形質は寿命や自殺、がん罹患に影響を与えることが繰り返し示されているが、いまだそのエビデンスは確立しておらず、生命予後の改善や、がん・自殺予防に関する介入効果については知見が限られています。さらに、心理社会的形質は身体形質と同等か、場合によっては身体形質より高い遺伝要因の関与が双生児研究により確認されています。したがって、本研究では、①各種心理社会的形質を規定する遺伝要因を特定し、その機能を解明することと、②各種心理社会的要因および遺伝要因が本研究アウトカムである寿命と自殺、がん罹患に及ぼす影響を前向きな追跡調査により確認します。またその際には、両者の交互作用についても検討します。TMM 計画において取得済みのジェノタイプデータ・コホートデータを利用した関連解析を行い、心理社会的形質を規定する遺伝要因を特定します。また、TMM 計画によって収集されたがん罹患や死因を含む追跡調査データを利用して、心理社会的形質ががん罹患や死亡・死因に与える影響を調べます。

解析結果は個人ごとの情報を含まない統計情報として名古屋市立大に共有され、名古屋市立大側で得た結果と合わせて解析されます。

4. 研究に用いる試料・情報

TMM 計画参加者のうち、ベースライン調査時に岩手県在住の約 1 万人のジェノタイプデータ、ベースラインコホートデータ（特に基本情報、罹患歴、検体検査情報、生理機能情報、特定健診情報）、追跡調査データ（特に死因別死亡、がん罹患）

5. 研究費および利益相反

本研究は文部科学省科学研究費補助金によって充当します。このほか、各省庁、地方自治体、財団法人などからの研究費および財政援助を広く求めるものとします。ただし、上記以外の研究費・財政援助を得る場合で、研究責任者が必要と認める場合には、名古屋市立大学大学院医学研究科倫理審査委員会に審査を申請します。なお、研究費・財政援助を行う団体が研究自体に関与する場合には、「共同研究機関」として位置づけられるとともに、該当する場合には「追加研究の実施」により、当該研究が追加研究として認められなくてはなりません。

本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内

で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて調査参加者もしくは調査参加者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも調査参加者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構
〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号
TEL：019-651-5110（内線 5508/5509）
E-mail：megabank@j.iwate-med.ac.jp

研究責任者：

清水 厚志
岩手医科大学 医歯薬総合研究所 いわて東北メディカル・メガバンク機構
〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号
TEL：019-651-5111（内線 5472）
E-mail：ashimizu@iwate-med.ac.jp

-----以上